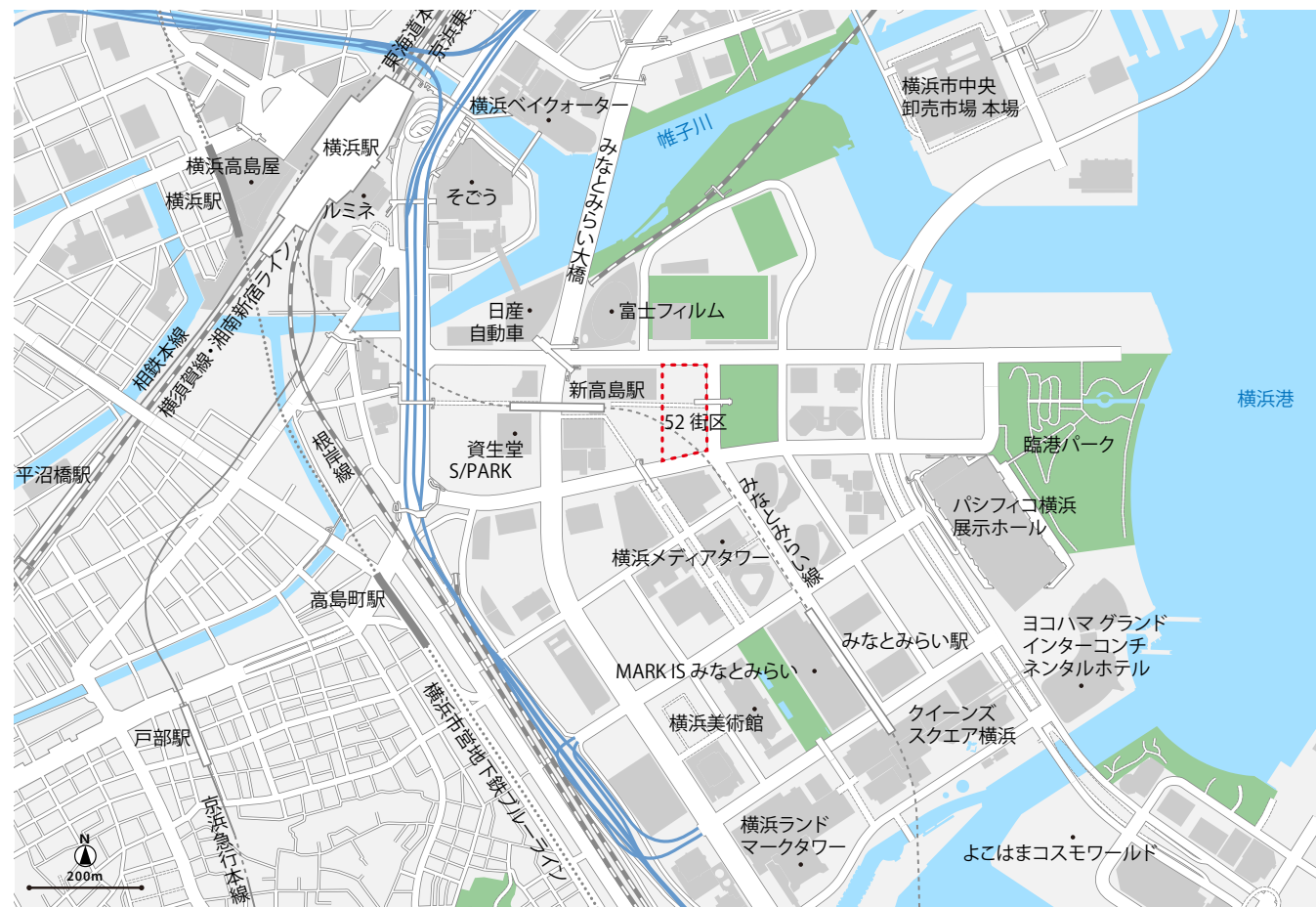


1. 計画概要

■施設概要

敷地面積：約 11,820㎡	建築面積：約 7,200㎡
延べ面積：約 115,000㎡	容積対象面積：91,402㎡
建蔽率：76.2%	容積率：773.3%
最高高さ：179.8m	基準階面積：3,419㎡
構造：S造一部SRC造（免震構造）	駐車台数：183台
階数：B1F-29F-PH3F	（附置義務台数：175台）
主要用途：滞在型施設、集客型施設、 イノベーションプラットフォーム	駐輪台数：80台
地域インフラ施設	（附置義務台数：80台）



2. オフィス棟東面 圧迫感の軽減（低層部・高層部）

低層部分と高層部分を分節することで圧迫感を軽減

■縦・横の分節化によるオープンでヒューマンスケールな低層部の構成

- ・住宅エリア側への圧迫感を軽減するため縦方向の分節化や壁面リブ形状を細めにする等の配慮を行います。
- ・また、免震層を境界に低層部と高層部を分節化して色調・素材を変化させ歩行者の快適性に配慮した景観を形成します。

横の分節化

木調の天井や水平方向の壁面緑化により、賑わい施設をキング軸と一体の基壇部として分節します。

威圧感を無くす工夫

柱を奥まらせて基壇部フレームの威圧感を軽減します。

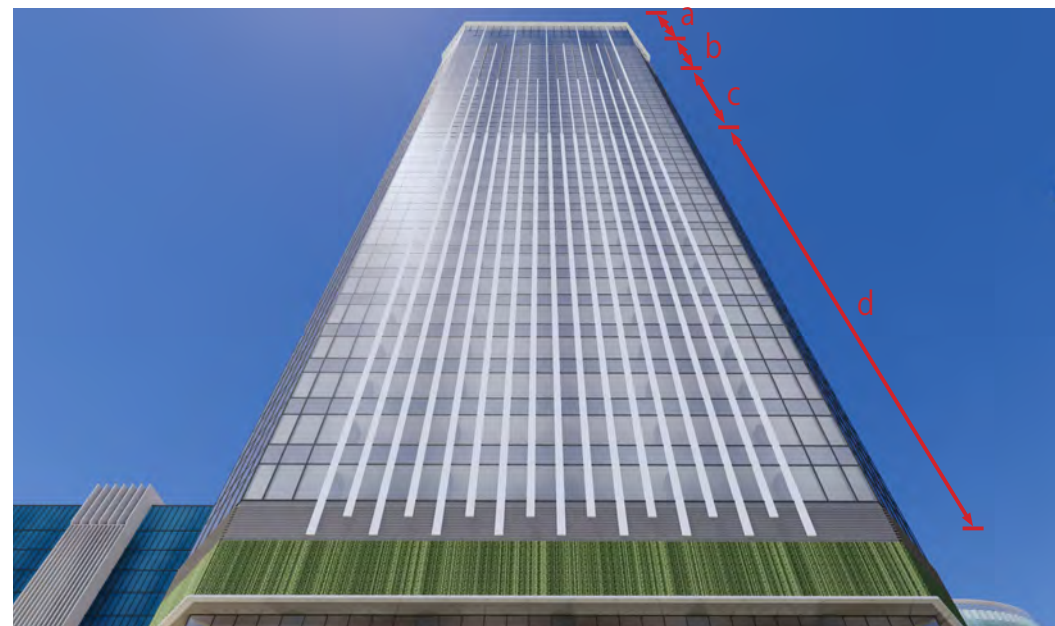
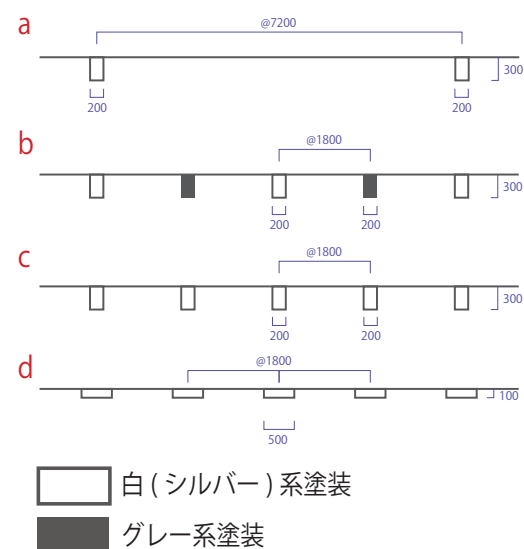


高島中央公園より

東側のファサードデザインを上部かけてグラデーションに疎密化

- ・高島中央公園へ開いたオフィス棟東側ファサードの縦フィンの部材幅をフレキシブルフロアと呼ばれる階高の高い層で4段階に変化させ、頂部にいくにつれてグラデーションで疎になるデザインとすることで圧迫感を軽減を図ります。
- ・1段階目の切り替え (c-d) を 53 街区 EAST 棟頂部の高さ (約 85m) と合わせることでまとまりある計画とします。

■東側縦フィン断面



高島中央公園より見上げ



高島中央公園から 52 街区を見上げる